2009年5月号1頁「東京電力」
【資料請求番号　017】

東京電力
TEPCO

空気の熱で、CO_2を半分に。

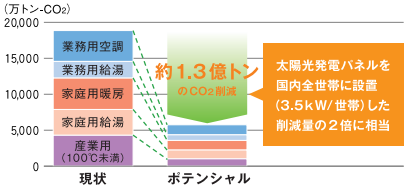
ヒートポンプ技術は、空気の熱を上手に活用しています。

日本が誇る革新技術、「ヒートポンプ」を世界の空調・給湯へ。

地球温暖化を防ぐためには、CO_2排出量を大幅に削減することが必要です。CO_2を出さない原子力や高効率な火力などをバランス良く組み合わせた電源のベストミックスによる環境性に優れた「電力会社の電気」と、高効率な「ヒートポンプ」を組み合わせて上手に使うことで、燃焼式に比べてCO_2排出量を半減することができます。

●ヒートポンプのCO_2削減ポテンシャル

国内の冷暖房や給湯、100℃未満の加温・乾燥などをすべてヒートポンプで代替した場合



ヒートポンプ導入による削減効果は国内CO_2排出量の10%に達します。

出典：(財)ヒートポンプ・蓄熱センター試算

ドイツなどでは「空気の熱」を再生可能エネルギーと定義

2009年1月から施行されたドイツの「再生可能エネルギー熱法」(新築建物に再生可能エネルギー熱の導入を義務化)や、2008年に公表された「再生可能エネルギー推進に関するEU指令案」では一定効率以上のヒートポンプによる空気熱利用が新たに再生可能エネルギーと定義されました。

電気のこと、省エネルギーに関する情報は、東京電力のホームページをご覧ください。 www.tepco-switch.com/biz

空気の熱を上手に使おう
チーム・マイナス6%